

パソコンによる人体寸法計測の自動化と体型把握
 福山市立女短大 ○増田智恵 山本百合子
 広島県立福山繊維工業試験場 古川 昇

【目的】衣服設計のための人体計測は、従来Marutin人体計測器等を使用して行われているが、多数の箇所を計測する場合、計測ミスや記録ミスの発生が懸念されている。そこで、計測の自動化および計測値保存の省力化を目的として、人体計測器をパソコンに接続し、体型観察のための資料作成プログラムの開発を行った。

【方法】電子デジタル身長計およびこれを改造した杆状計による計測データを、パソコンに転送してDisplay、Printer、Plotterに出力し、Floppy Diskに登録した。(図1)計測時には、パソコンで計測箇所を人体図上に表示すると共に計測器具や補助道具等も指示した。体型把握のため、青年女子を対象としたProportion図等のプログラムを作成した。

【結果】人体計測器をパソコンと接続することで、計測と同時に計測値の保存ができ、計測と計測値記録の大幅な省力化が可能となった。また、計測方法をパソコンで支援しているため、初心者でも容易に計測が行えた。保存データを利用して体型把握のための資料を短時間で作成でき(図2)被服教育に有効であった。ただし、メジャーによる計測値はMANUAL INPUTしているため、メジャーとパソコンとの接続について検討中である。

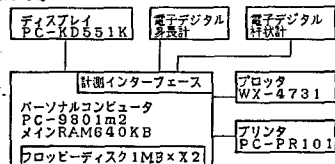


図1 人体寸法計測の自動化システム

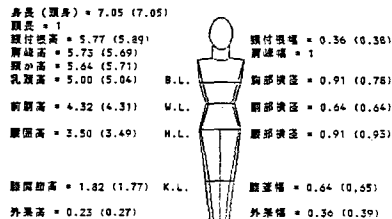


図2 頭長をもとにしたプロポーション正面図
 ()は本学+50-59年度女子学生の高径・横径の比率